

感謝

we-are-reds

「感謝の気持ちをもちなさい。」 私は耳が痛くなるほど聞いてきた。

たしかに、社会を生きていくうえで感謝の気持ちを持つことが重要なのは、なんとなくではあるが正しいと思える。感謝という言葉は他者への敬意や愛や幸が言葉に含まれていると考えられる。根拠としては「ありがとう」は感謝であるが、「ありがとう」は他者から(何かしらの行為を受け)それに対する(思い)である。つまり他者からの行為を当たり前だと捉えず、「私のためにわざわざ行為を行ってくださった」だから「ありがとう」という気持ちが芽生えた。このような結論に至るのではないだろうか。

では、親に対して感謝の気持ちを持つのは、正しい事なのであるのかどうか、疑問に思うところである。

「親に感謝の気持ちを持つのは当たり前だ！」と思っている人からすれば、僕が言ってる事は理解できないであろう。しかし考えていただきたい、あなたの生はあなたが望みましたか？そんな人は誰もいませんよね、なぜなら子作りは親のエゴであるからです。子供の意志など反映されません、反映できないというのが正しい言い方ですね。さて、上記の疑問についてどう思うだろうか、親のエゴに感謝するのは、はたして正しいのかどうか考えさせられるのではないだろうか。親が勝手に決断した事に対して感謝をもてるであろうか、また、「生」そのものを幸だと捉えるべきなのでしょうか。永遠のテーマかもしれませんね。

私は、親へ感謝の気持ちをもてというのは洗脳だと思っています。こんなことを言うと親不孝者だと後ろ指をさされるでしょう、しかし親のエゴに対して感謝しろというのは意に反するものであります。このような意見を言うと、生そのものを否定しているや、人生を楽しもうとせずつまらない人間だからそんなことを考えるのだと思われてるでしょう。しかし、私自身の人生に嫌気など感じていません。私が思うのは感謝すべきは別のところにあるということです。

「意味が分からない！いったい誰に感謝するのだ！」　このように思われるかもしれませんね。

私が感謝すべきなのは大地だと思うのです。親のエゴで生を受け、仕事でも望んでもないのに大地はそれを受け入れ私達の生きる糧になっていきます。「お前は何を言っているんだ！」と感じる方もいられるでしょう。私は親が子育てをして身を削るのは当たり前だと思うのです、それに対して感謝の気持ちをもてと教えるのは筋違いも甚だしいとは思いませんか、洗脳そのものであり思考が固まっている状態だと思います。

なぜ大地に感謝すべきなのか、私なりの考えを述べたいと思います。大地は水や食料を供給する一部役割を担ってくれます、私達はこの環境で生き抜くために勝手に大地を使用しているのです、これに対して感謝の気持ちを持つのは当然だと言えます。このようなことを言うと「発展に対して批判してるのか、車等を廃止すべきという考えか」と思われるかもしれませんね。環境問題について言及したいわけでもありません。

大地というのは国そのものです。国や生まれ育った故郷に感謝するというのが本来正しい思想ではないかと思うのです。親ではなく故郷、故郷を維持し守る、つまり故郷で仕事をして子供を作る。子孫を残すというのは親の愛であり、子育ては先代に対する敬意が生まれるのではないのでしょうか。愛国心や愛郷心という言葉に戦争や天皇を結びつける人もいるだろうが、そんな考えは捨てるべきだと思うのです。愛国心や愛郷心というのは感謝そのものだと思うのです。